

< グラノール含浸塗工 > 木床・木工加工品のメンテナンス

グラノールを含浸塗工した床材、木工製品は防汚性に優れておりますが、更にきれいに使用していただくためにも手入れが必要です。以下、手入れ方法、注意事項について記載いたします。

< 注意事項 >

- ・木材にとって水は大敵です。グラノール含浸により水は浸入しにくくなっておりますが長時間浸漬状態が続けば侵入してしまいます。又、床材などは目地、継ぎ手部には塗工されていませんので侵水し、以下のようなトラブルにつながります。
 - 木材があばれる（反り、突き上げ、床鳴り）
 - 木材が膨れる
 - 変色、腐食する
- ・したがって、メンテナンスでの洗浄においても水を使用する場合は使用量を少なくし、且つ、直ちに拭き取りを行ってください。
- ・グラノール含浸の木床にはメンテナンスにワックスは使用しないでください。

1) 日常の手入れ（以下の汚れのレベルに応じて実施してください）

- 乾いた雑巾、科学雑巾で乾拭きしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は濡れ雑巾を絞った雑巾で汚れを除去し、その後乾いた雑巾で水気を拭き取ってください。（中性洗剤を使用しても良い）
- ひどい汚れで落ちにくい時（木目に汚れが入っている）は以下の手入れをしてください。

< 汚れの種類が中性洗剤で落ちる汚れの場合 レベル1 >

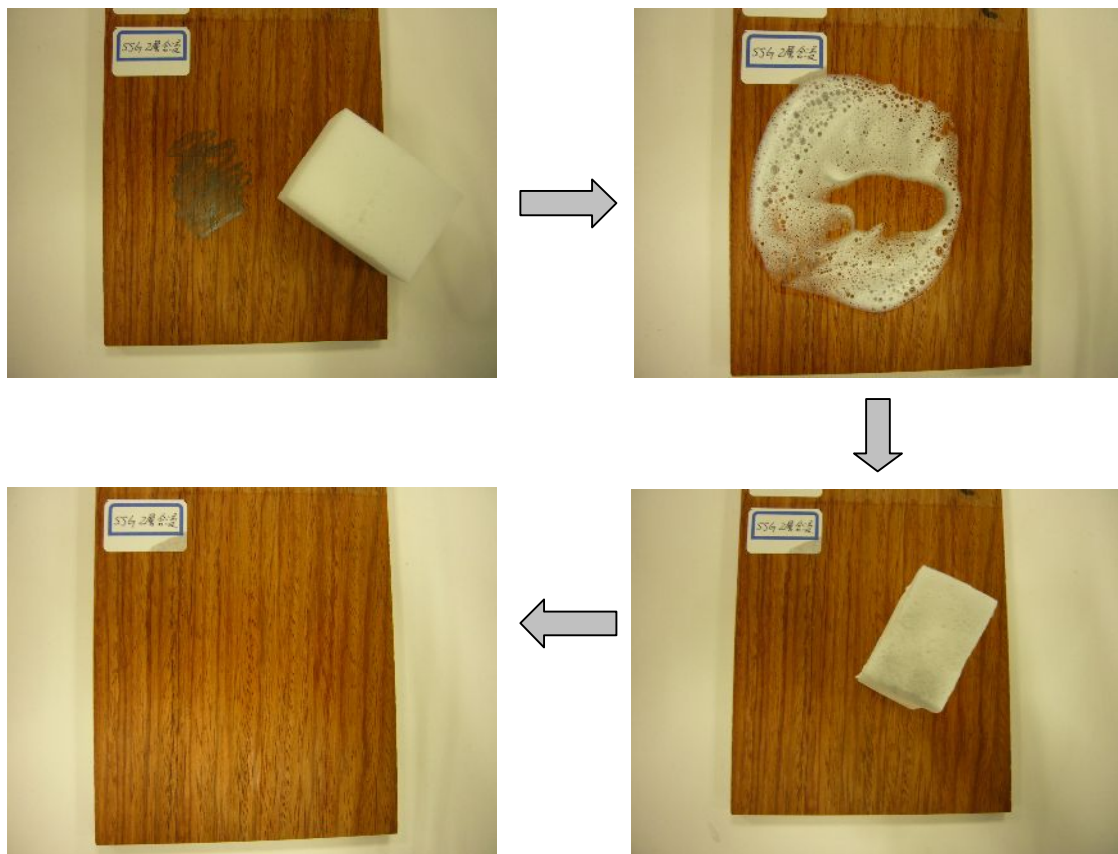
- ・マイクロファイバー布に中性洗剤を浸し、汚れ部をこすって汚れを除去してください。（マイクロファイバーは木目の中の汚れを取ります。市販品使用可）
*強アルカリ洗剤は使用しないでください。
- ・汚れ部の水気は、直ぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。
- ・この手入れを実施しても表面はグラノールにより保護されており変化がありません。



< グラノール含浸塗工 > 木床・木工加工品のメンテナンス

< 汚れの種類が中性洗剤で落ちる汚れの場合 レベル2 >

- ・メラミンフォーム（商品名：激落ち君など）に中性洗剤を浸し、汚れ部を木目に方向に強くこすって汚れを除去してください。（メラミンフォームが木目の汚れを取ります。）
*強アルカリ洗剤は使用しないでください。
- ・汚れ部の水気、洗剤は、直ぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。
- ・この手入れを実施しても表面は**グラノール**により保護されており変化がありません。



- チューインガムや食べ物の付着による汚れは表面を傷つけないようにペーパーナイフのようなもので取り除きます。その後、市販のスプレークリーナーなどで完全に除去してください。取り除いた後は上記の手入れ作業を実施してください。
- マジックや絵の具などの汚れは塗料用シンナー、ラッカーシンナーなどの溶剤をマイクロファイバーに含浸させ拭き取ってください。

< グラノール含浸塗工 > 木床・木工加工品のメンテナンス

2) 定期メンテナンス

- 日常の手入れが実施されていれば定期メンテナンスは特に必要ありませんが、以下のような状態の場合は特別なメンテナンスを実施してください。

- **グラノール含浸の木床はワックスを使用しないでください。**

- **深い傷が表面にできた場合。**
対象箇所は必ず乾燥した状態にしてください。(グラノールは水分と反応します)
対象箇所の表面をサンドペーパー、切削具などで平滑に削ります。
傷が目立たなくなる状態になったらサンドペーパー(400番)で表面を研磨します。
その後、傷部にグラノールを含浸塗工します。(色むらは起こりません)
30分ほど乾燥したらサンドペーパー(800番)で軽く表面を研磨し、マイクロファイバーでホコリを除去し、**2回目**の**グラノール**を含浸塗工してください。
その後は養生乾燥(物を置いたりカバーをしないで下さい)してください。

- 全体の表面の清掃は以下の注意点を厳守してください。
 - ・水分を伴う清掃は極力避けてください。 使用する場合は少ない水分と直ちに水気を拭き取るようにしてください。
 - ・床パッドを使用する場合は白か赤パッドを使用してください。
 - ・洗剤は強アルカリ、強酸品は使用しないでください。
中性洗剤か溶剤を使用してください。

- 表面に再度、グラノールを含浸塗工も可能です。
再塗工サイクルは場所や状況により変わります。 (1年～数年間後に再塗工)

以上